

4-9. 総合事業のデイサービスを魅力的なサービスにするためには、どんな方を対象にこういったプログラムを提供するのがいいと思われませんか？

「対象」と「プログラム」それぞれお答えください。

74件の回答

プログラム：個別
日常生活に困っている方中心に、自主運動の指導等
対象：現在の対象の方で良いと思います プログラム：体操・脳トレ・製作
体は元気だが会話する相手が少ない方は、どうしても外に出たり運動できる機会が少ないです。まずは独居の方は強制的にでもデイを使い社会と触れ合う機会を持つべきかと思えます。
対象：事業対象者以上の認定を受けている方 プログラム：準備運動→動作訓練全身運動バランス運動→筋力強化運動・嚙下運動・後はできる範囲で個別で対応
介護度の低い方に元気を維持する為のプログラムが必要
全般、カルチャーセンターのような趣味活動をメインとしたプログラム
なるべく色々なジャンル【脳トレ系・運動系など】のレクを提供しあきが来ないようにしている。
1人暮らしの方や1人でいる時間が長い方に普段行う家事や階段等日常生活動作が衰えない為のプログラムを提供
全員にマシンを使用した筋力維持
対象：介護予防 プログラム：自宅や地域で持続して行えるトレーニング
対象：昨日訓練だけでは物足りない方 プログラム：自由に選べるプログラムをたくさん用意する（機能訓練、手作業、マッサージ、茶話会など）
入浴や食事等介護が必要な方のサービス。
特に区別していない
認知がない方に、ものを作るプログラム
料理
総合事業の方に下肢筋力を鍛えるプログラム
対象：フレイル状態の方 プログラム：機能訓練
対象：介護認定を受けられなかった人
対象：フレイル プログラム：身回りの体操プログラム
対象：複数のプログラムを提供し選択できるようにしている プログラム：音楽、カラオケ、体操、囲碁、将棋、麻雀、健康ゲーム、メディカルアロマ
要介護の方と同様に提供している
全体
利用者一人一人の能力を引き出す、活用するという視点で、本人がしたい事を丁寧に聞き出して、提供方法を工夫することが肝要。ニーズの要件は別として、本来はカテゴリーやプログラムから考えるという発想の転換と、それができる人員配置・報酬体系が必要なのではないか？
対象：お1人住まいをされている方 プログラム：運動（軽い体操）や脳トレの提供（家でも出来そうなもの）
対象：地域の集まりの場や機械が減った方 プログラム：個別の身体機能に応じたprogramの設定、介護予防に関する知識の提案（情報提供？）
独居の方が社会性を持てるプログラム
軽度認知症のリスクの高い方を対象に予防のための体操や脳トレを取り入れたプログラム
対象：全て プログラム：歩く運動
対象：独居生活者 プログラム：在宅生活の持続の為に調理や洗濯、掃除等の生活動作
対象：運動したい方 プログラム：集団で交流を持ちながら実施できるもの
生活リハビリ
対象：フレイル プログラム：個別運動、体操モデル
対象：引きこもりがちな男性高齢者 プログラム：将棋、囲碁、麻雀、カラオケなど男性が好む娯楽、男性の尊厳を尊重する事
人それぞれの「色」が違うので、対象者など一括りにこのプログラムを提供すればいいとはお答えできないのが現状です。人それぞれに合わすしかないと思えます。
75歳以上 機能訓練

4-9. 総合事業のデイサービスを魅力的なサービスにするためには、どんな方を対象にこういったプログラムを提供するのがいいと思われますか？

「対象」と「プログラム」それぞれお答えください。

特になし
全ての方をを対象に脳トレと運動を同時に行っていきたいです。
デイサービスは介護というイメージが強い。そのため、イメージで利用を拒む方もいる。介護を受けることにならないように、予防を対象とした専門的なプログラムの実施、地域の方との関わりが大事だと思います。
対象：認知機能が低下傾向にある方 プログラム：体を動かしながらの脳トレ
要支援の方も介護が必要な方が増えている：送迎・入浴・食事・機能訓練・レクとサービスを受けれるデイサービスは必要だと思います。受け入れが出来ない事業所は増加中。
対象:介護に近い支援の方 プログラム:日常生活に支障が出ることのないプログラムの提供
送迎負担がない方を対象に増やしたいが、現状の居宅からの紹介では不可能
対象：全利用者様 プログラム：季節ごとの行事、外出レク
要介護になる可能性の方、在宅独居や社会交流の少ない方を対象。 集団生活の中でのレクリエーションや社会交流、行事等に参加して楽しみを持ってデイに通っていただく
運動不足にある地域住民に対して有酸素運動プログラム
身体状況を維持したい方を対象に、個別のリハビリメニュー（自主的に行なえるものを中心に）のもと、自由に身体を動かせる機会を提供する
一人で外出できない高齢者を対象に、習い事のように楽しみながらできる活動
在宅で生活をされている方が今後も継続して生活を送れるよう、機能低下防止に向けて運動支援を。また、運動のみでなく、同年代の方々との交流を通して心身の活性化が図れる環境作りが必要と考える。
60～70代 リハビリ
フレイル予防(口腔、栄養、運動)のプログラム提供
歩行がしっかりした方に対する外出プログラム
対象：生活の質を上げたい。運動して健康でいたいと思っている方に プログラム：今のプログラムで十分です。
対象者：50から70代の若年層と80、90代を2分割にする プログラム：前者はスポーツジム、パーソナル形式で時間制限もなし。マシンなど個別プログラムを遂行、送迎はなし、希望者のみ行う。 80・90代は基本パーソナル対応だが生活を重点的に行う(現在形式)
対象：総合事業対象の方全員に プログラム：グループワーク的に集まり何をするか考え作り上げる。回想法。
対象：デイサービスの存在を知らない方が多いのでまずは知ってもらう。プログラムは事業所によって内容は違うのと、利用者様の目標や希望も違うのでヒアリングが必要。ヒアリングの上で希望にあった事業所を紹介する。事業所の特色を把握する必要がある。デイサービスの特徴をケアマネージャーとのつながりを設ける必要がある。
ご自宅では運動の継続が難しい方を対象に移動やADLの向上に向けた運動プログラムの実施
プログラム：個々の趣味に応じたもの
対象：全員の利用者様 プログラム：季節感を感じていただいたり、パワーリハビリ等のリハビリで体を動かしていただく。
「対象」入浴に不安がある方、家族が入浴を心配されている方 「プログラム」入浴の希望がとても多いので、加算があればよいと思う。
外出が減っている利用者に杖や歩行器の使い方を指導
それぞれ個々を大切に、プログラム通りにいかない時は大切に対応したい。
軽度者を対象に介護予防に向けた体操や口腔機能訓練
対象は、事業対象者、要支援者 プログラムは、筋力向上、ストレス運動などの基礎的内容とともに、個々の問題点に焦点を当てるプログラムが必要と考えています。歩行が不安定であるとして、筋力なのか？姿勢の影響なのか？可動域なのか？消去法で原因を見つめるようにし、プログラムを提供することが良いと思います
対象：独居 プログラム：1日のご利用
対象：外出機械が減っている方 プログラム：筋力を維持、向上するための運動の提案
対象：総合事業に限らず プログラム：手先をよく使うレクなどは公表で組み入れている

4-9. 総合事業のデイサービスを魅力的なサービスにするためには、どんな方を対象にこういったプログラムを提供するのがいいと思われますか？

「対象」と「プログラム」それぞれお答えください。

対象：要支援・事業対象者 プログラム：機能訓練だけでなく、病気の知識を学ぶ企画を設けたりしていくのがいいと思います。
--

対象：事業対の人に プログラム：要介護予防

プログラム：基本まず外出をうながす方向で事業所ごとに様々な形態があるのがいいと思う。
--

対象：リハビリ希望者 プログラム：リハビリ

対象：食事・入浴が必要でないご利用者様 プログラム：運動以外でもご利用者様が楽しみがあるプログラム

対象：リハビリ希望の方 プログラム：リハビリプログラムの充実

介護保険が必要になりそうな方
